

# たのしい絵本

赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本



## もくじ

- 赤ちゃんと一緒に  
絵本を楽しむために…………… 1
- いないいないばあ…………… 2
- くだもの…………… 2
- がたんごとんがたんごとん…………… 2
- おつきさまこんばんは…………… 3
- じゃあじゃあびりびり…………… 3
- ぴよーん…………… 3
- くっついた…………… 4
- ぎゅうぎゅうぎゅう…………… 4
- おひさまあはは…………… 4
- しろくまちゃんのほっとけーき…………… 5
- ぼんちんぱん…………… 5
- くりんくりんごーごー…………… 5
- いぬがいつぱい…………… 6
- みーせーて…………… 6
- なーんだなんだ…………… 6
- ねないこ だれた…………… 7
- だれかしら…………… 7
- ちょうちょうひらひら…………… 7
- きゅっきゅっきゅつ…………… 8
- ぴよぴよぴよ…………… 8
- とってください…………… 8
- ぴよぴよ…………… 9
- ととけっこうよがあげた…………… 9
- うんこ…………… 9
- あっぷっぷつ…………… 10
- がちゃがちゃ どんどん…………… 10
- かおかおどんなかお…………… 10
- もう おきるかな…………… 11
- おはよう…………… 11
- ずかん・じどうしゃ…………… 11
- 図書館のご案内…………… 12
- おはなし会のご案内…………… 13

## 赤ちゃんと一緒に絵本を楽しむために

- ・赤ちゃんは、おしゃべりができる前から、周りの言葉に耳をすましています。抱っここの暖かさの中で絵本を読んでもらうことは、赤ちゃんにとってうれしいだけでなく、赤ちゃんのこぼれ話を育ててくれます。また、赤ちゃんと一緒にゆったり絵本を楽しむことで、親子の絆を深めることができます。
- ・赤ちゃんが喜んでいるようならば、何回でも読んであげましょう。そういう本は、赤ちゃんにとって心に響いた本です。繰り返し読んでいるうちにいつそう理解が深まり、多くの事を吸収することができるのです。
- ・子どものころ出会った絵本の楽しさは、読んでくれた人の暖かさと絵本に出会った喜びと一緒に、心の中に残っています。お子さんと一緒に、楽しい絵本に出会ってください。





松谷みよ子あかちゃんの本・シリーズ

## いないいないばあ

松谷みよ子 文 瀬川康男 絵  
童心社 (A E-セカ)

動物たちがいないいない…、次のページで「ばあ」とそれぞれ目を大きく開きます。日本の伝承遊びを取り入れた絵本は、親子で一緒に遊びながら楽しめます。優しい言葉、繰り返しのリズム、そして淡い色彩で描かれた絵は、子どもがその絵本の主人公自身となって楽しめます。



## くだもの

平山和子 作  
福音館書店 (A E-ヒラヤ)

「さあ、どうぞ」くだものの実物の絵と、お皿に盛りつけたくだものを勧める絵を連続させたシンプルな絵本です。プレゼントされるくだものを通して、きっと赤ちゃんは本の世界にくぎづけになることでしょう。何度でも繰り返し楽しんでください。



## がたんごとんがたんごとん

安西水丸 作  
福音館書店 (A E-アンサ)

黒い列車が、お客を乗せて走っていきます。ほ乳びん・カップ・スプーン・りんご…。さて、終点はどこでしょうか？がたんごとんがたんごとんと繰り返し読むうちに、子どもたちも知らず知らず口ずさんでいます。





## おつきさまこんばんは

林明子 作  
福音館書店 (AE-ハヤ)

暗い夜空にお月さまがあらわれます。見ている赤ちゃんは黒雲でお月さまが隠れると不安になります。やがて雲が動き笑顔のお月さまに「こんばんは」。今度はホッとします。

リズムカナルな文とあたたかみのある絵で描かれています。



## じゃあじゃあびりびり

まついのりこ 作  
偕成社 (AE-マツ)

じどうしゃ「ぶーぶー…」、みず「じゃあじゃあ…」。ページをめくるたびに色々な音に出会えます。はっきりした絵とわかりやすい言葉、赤ちゃんの好きなものがそろっています。

赤ちゃんが聞こえてくる音の真似が楽しくなる時期に最適です。



## ぴょーん

まつおかたつひで 作  
ポプラ社 (AE-マツオ)

「ぴょーん」といろいろな生き物がジャンプする動きに合わせて、縦に開く絵本です。ジャンプ前のためている姿と飛び上がる姿がどちらも力強く、リズムカナルでもあります。本を読んだ後に赤ちゃんにもおひざの上で「ピョーン」としてあげてください。





## くっついた

三浦太郎 作  
こぐま社 (A E-ミウ)

離れている2匹の動物が、ページをめくるとくっついた!最後は、おかあさんと子ども、お父さんも一緒にくっついた!ほっぺとほっぺをくっつけて家族みんなが幸せになります。あたたかなトーンですっきりまとめられた絵本です。



## ぎゅうぎゅうぎゅう

おーなり由子 文 はたこうしろう 絵  
講談社 (A E-ハタ)

赤ちゃんの小さな手とおかあさんの手が「ぎゅう」、くまさんと「ぎゅう」。「ぎゅう」すると、みんな楽しく笑顔になります。赤ちゃんとのスキンシップの楽しさと大切さが伝わってきます。赤ちゃんと「ぎゅう」して楽しく幸せな時間を過ごせることでしょう。



## おひさまあはは

前川かずお 作  
こぐま社 (A E-マエカ)

「おひさまが あはは」「ことりが あはは」。お花、子犬、魚など、みんなみんな「あはは」と笑顔があふれています。声に出して読んでいるうちに、赤ちゃんも大人も元気が出てきます。柔らかな線で描かれるおひさまは金色に輝き、本当に幸せそうで、読み手まで笑顔になります。



こぐまちゃんえほん・シリーズ

### しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん 作  
こぐま社 (AE-ワカヤ)

しろくまちゃんが、ホットケーキを作ります。子どもが大好きな、食べ物のお話です。赤ちゃんが興味を持つ擬音も効果的に使われています。このシリーズは、全て明るい色調で描かれ、動きをわかりやすくとらえています。また、暖かな視線で語られたお話に、心が温まります。



### ぼんちんぱん

柿木原政広 作  
福音館書店 (AE-カキノ)

ぱんぱんしょくぱんぼんちんぱん、ちぎちぎぱっぱでぼんちんぱん…  
次々に登場するおなじみのパン。食べながらパンに表情をつくる遊びは、一度はやってみたことがあるのではないのでしょうか。本を読んだ後は、食卓でもぜひためしてみてください。



### くりんくりんごーごー

佐々木マキ 作  
福音館書店 (AE-ササキ)

クマがくりんくりんと、一輪車に乗ってやってきて、くりんくりんと行ってしまいました。次は、ライオンがどるんどるんと、オートバイでやってきました。次から次にいろいろな楽しい音を立て、乗り物と動物たちがやってきます。擬音が大好きな赤ちゃんのために作られた楽しい絵本です。





## いぬが いっぱい

グレース・スカル 作  
福音館書店 (AＥ-スカル)

“おりこうないぬ”にはじまり、1ページごとにいろいろな犬が登場します。そして最後に、今までの犬が勢揃いしてみんな一緒に「わんわん」。リズムカルな繰り返しや、やさしい色使いながら輪郭のはっきりしたわかりやすい絵が楽しめます。



## みーせーて

スギヤマカナヲ 著  
アリス館 (AＥ-スギヤ)

「みーせーて」合せた両手の中にはチリチリンといい音がするもの、くすぐったいもの、いい匂いがするもの、何が入っているのかな？「いーいーよ」手を開くといろいろなものがかくれています。子どもたちがよく遊んでいる手の中にもものを隠す遊びを絵本で楽しめます。



## なーんだ なんだ

カズコG・ストーン 作  
童心社 (AＥ-ストーン)

「なーんだ なんだ」と読み始めると、赤ちゃんたちは本を見つめます。「なーんだ なんだ」をリズムに合わせて繰り返し、ゆっくり顔を出したパンダがでてきた後、大きな腕の中に子どものパンダがいます。赤ちゃんは自分とそっくりのパンダにうれしくなることでしょう。







## ねないこ だれだ

せなけいこ 作  
福音館書店 (A-E-セナ)

時計が鳴ります。ぼん、ぼん、ぼん…。こんな時間に起きているのは誰だ？子どもたちのまだ寝たくない気持ちをそっと認めながら、夜の暗闇の世界と静けさへの興味を満たしながら眠りを誘う絵本です。色合いのやわらかな切り絵で、おばけの世界を表現しています。



## だれかしら

多田ヒロシ 作  
文化出版局 (A-E-タタ)

ドアの窓から見えるのは、だれかしら？窓からは耳が見えたり、花が見えたりしています。わくわくしながらページをめくるとかわいい動物たちがプレゼントを持って登場します。最後はみんな揃って誕生日をお祝いします。大好きな誕生日が待ち遠しい子どもたちは何度読んでも楽しめます。



## ちょうちょうひらひら

まどみちお 文 にしまきかやこ 絵  
こぐま社 (A-E-ニシマ)

春風にのって、ちょうちょうがひらひら。うさちゃんにとまって、うさちゃんがうふふ…。ちょうちょうひらひら、ぞうさんにもとまるかな？もしもちょうちょうがとまってくれたら、とってもうれしいけど、でもくすぐったいかなあ？子どもたちのくすくす笑いが聞こえてくるようです。





## きゅっきゅっきゅっ

林明子 作  
福音館書店 (AE-ハヤシ)

赤ちゃんが、ぬいぐるみのねずみやうさぎとスープを飲んで、こぼした所をきゅっきゅっきゅっとふいてあげます。赤ちゃんは、お母さんに口の周りをふいてもらいます。赤ちゃんの身近で起こりそうなことを、リズムカルな文とあたたかみのある絵で描いています。



## ぴよぴよぴよ

平野剛 作  
福音館書店 (AE-ヒラノ)

ぴよぴよ、ひよこが出てきて次から次へ増えていきます。見ていた子ネコはいたずらしようとして追うと、大きなお母さんのニワトリにばったり。コッコッコッと叱られました。お母さんとヒヨコを見たら、子ネコもお母さんを思い出し、家に戻りました。洗練されたデザインが美しい絵本です。



## とってください

福知伸夫 作  
福音館書店 (AE-フクチ)

カメさんが、ゆっくりゆっくりおさんぽ。途中でサルやハト、キリンなどいろいろな動物と出会い、木の上からいろいろなものを取ってもらいます。「とってください」「ありがとう」の繰り返しは耳に心地よく響きます。ぬくもりのある版画が色鮮やかな絵本です。





## ひよぴよ

谷川俊太郎 作 堀内誠一 絵  
くもん出版 (A Eーホリウ)

ひよこが様々なものに出会う冒険物語。ひよぴよ、こけこっこう、しゅばしゅば、とぷん、きいっ等、擬音語や擬態語でおはなしが展開していきます。言葉が持つ美しさ、楽しさ、おもしろさに調和したやさしさを感じる色鮮やかな絵も魅力的です。



## ととけっこうよがあけた

こばやしえみこ 案 ましませつこ 絵  
こぐま社 (Eーマシマ)

昔から子育てに生かされてきたわらべうたからできた絵本です。メロディを知らなくても大丈夫。大切なのはお母さんの声で伝えることです。ねむい朝、赤ちゃんの名前を入れて歌ってあげましょう。一番身近な人にこんな楽しい声かけで起こしてもらえたら、きっと機嫌のよい一日が始まることでしょ。



## うんこ

みやにしたつや 作  
鈴木出版 (Eーミヤ)

金魚さんのうんこは長いうんこ、からすさん、やぎさん、ぞうさんはどんなうんこかな？みんなうんこをするよ。ぼくのはどんなうんこかな？

タイトルを読んだだけで赤ちゃんは大喜びします。色々な生き物が出てくる繰り返しの楽しい絵本です。





### あっぷっぷっ

中川ひろたか 文 村上康成 絵  
ひかりのくに (A E-ムラ)

「にらめっこしましょ あっぷっぷ!!!」色々な動物たちやお母さんとにらめっこ。ページをめくると、面白い顔をするところで大笑い。「ぶははは わらっちゃったあ」で思わず笑顔。何度見ても楽しめる絵本です。



### がちゃがちゃ どんどん

元永定正 作  
福音館書店 (A E-モトナ)

がちゃがちゃどんどんかーんかーんちんりんどさん…と音がします。いつも何気なく耳から聞いている“音”を描いた絵本です。赤ちゃんは、このような音に反応し、楽しめます。そのしぐさは、大人にはかなわない子どもの心の柔軟さを発見させてくれるでしょう。



### かお かお どんなかお

柳原良平 作  
こぐま社 (A E-ヤナキ)

6～12カ月の赤ちゃんは、人の顔によく興味を示すようになります。この本でたくさんの表情に繰り返しふれて、赤ちゃんのこれからの出会いにそなえましょう。そして、できるだけ多くの時間を「いいおかお」で過ごせるとよいですね。



## もう おきるかな？

まつのまさこ 文 やぶうちまさゆき 絵  
福音館書店 (A E-ヤフウ)

動物の親子が気持ちよさそうに寝ています。ねこ、いぬ、りす、くまにぞうのゆったりとした寝姿が、とても微笑ましく感じられます。「もう おきるかな？」と言った後ページをめくると、動物たちの満足した様子がうかがえます。



## おはよう

中川李枝子 文 山脇百合子 絵  
گرانمام社 (A E-ヤマワ)

おひさまが朝になるとあくびをし、顔を洗ってぱっちり目をあけます。そしてみんなに、「おはよう、おはよう」と朝のあいさつ。『ぐりとぐら』と同じ作者による赤ちゃん絵本。色使いが優しく、短い文の中に朝のうれしい気分があふれています。



## ずかん・じどうしゃ

山本忠敬 作  
福音館書店 (NE-ヤマモ)

赤ちゃんの大好きな“くるま”が勢揃い。鮮やかに描かれた自動車たちが、白いページの中からくっきりと浮かび上がり、赤ちゃんの興味を引きつけます。お父さん、お母さんが赤ちゃんに話しかけやすい絵本です。男の子はもちろん、女の子にもどうぞ。

# 図書館のご案内

どなたでも、無料で利用できます！

- \* 開館時間 火～金曜日 午前9時 30 分～午後7時  
(児童・視聴覚の各コーナーは午後5時)  
土・日曜日・祝日 午前9時 30 分～午後5時
- \* 休館日
  - 月曜日(その日が祝日にあたる場合は翌日)
  - 図書整理日(月末日、その日が土・日・月・祝日にあたる場合は別に定める日)
  - 図書特別整理期間(毎年、2週間以内)
  - 年末年始(12月28日～1月3日)
- \* 資料を借りるには
  - 資料を借りるには「貸出カード」が必要です。三島市、または近隣にお住まいの方は、貸出カード申込書に必要事項を記入し、身分証明と一緒にカウンターにお持ちください。
  - 赤ちゃんの場合は、保険証・こども医療費受給者証等で「貸出カード」が作れます。
  - 図書 10 冊、雑誌 3 冊、視聴覚資料 3 点を、2週間借りられます。

## 《表紙画家紹介》

池田優…1992年三島市生まれ。図書館勤務を経て、イラストを描く。三島市立図書館発行「たのしい絵本」の表紙イラストをはじめ、柔らかに繊細なタッチのイラストを得意とし、年賀状や店舗の装飾ボードなど、様々な分野で活躍している。  
<https://yu-ikeda.com>

# おはなし会のご案内

図書館では、赤ちゃんから幼児を対象におはなし会を開いています。  
皆様に、ぜひお出かけください。

〈三島市立図書館〉

\* 2・3歳 毎週水曜日 午前10時30分～午前10時50分


〈三島市立図書館 中郷分館〉

\* 0～2歳程度 毎月第3火曜日 午前10時30分～午前10時50分

\* 3～5歳程度 毎週水曜日 午後4時～午後4時30分

※ 詳しくは、広報みしま、図書館ホームページを  
ご覧ください。





三島市立図書館

〒411-0035 三島市大宮町1-8-38 TEL 055(983)0880

三島市立図書館 中郷分館

〒411-0816 三島市梅名353-1 TEL 055(982)5102

<https://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/>



2024年1月発行